

委託事業実施内容報告書

平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 特定非営利活動法人フィリピンナガイサ

1. 事業名称

バヤニハン日本語教室～みんなで地域を作っていこう～

2. 事業の目的

- 1) 浜松市に住む日系フィリピン人の日本語支援、生活支援を目的とした日本語教室を行い、彼らが自立した生活を送ることができるようにする。
- 2) 学習者が住んでいる地域の日本人におしゃべりボランティアとして日本語教室に参加してもらい、相互理解を図り、フィリピン人、日本人の双方が生活しやすい地域をつくる。
- 3) 今後も伸びていくバイリンガル教師の需要に対応するためバイリンガル教師の人材発掘を行う。

3. 事業内容の概要

事業内容は大きく分けて二つである。

- 1) 浜松市に住む日系フィリピン人に対する日本語、生活支援教室の実施
- 2) バイリンガル教師の人材発掘

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成24年10月27日 10:00~12:00	2時間	第一伊藤ビル3階	<ul style="list-style-type: none"> ・澤田 直子 ・野々山 勇 ・山下 文彦 ・山屋 宏 ・吉山 則幸 ・中村 グレイス ・永井 ジュディス ・牧野 リナ ・山本 ヘレン ・高井 マリ ・平原 エテル ・半場 和美 ・吉田 佐織 ・松本 義一 	平成24年度パヤニハン日本語教室 事業計画について	<ul style="list-style-type: none"> ・パヤニハン日本語教室の事業目的・事業計画。 ・日本語教育を行う人材の養成・研修の実施事業について。 ・浜松東教室の教室状況。
2	平成25年3月11日 10:00~12:00	2時間	第一伊藤ビル3階	<ul style="list-style-type: none"> ・澤田 直子 ・清 ルミ ・津村 公博 ・野々山 勇 ・山下 文彦 ・山屋 宏 ・吉山 則幸 ・中村 グレイス ・永井 ジュディス ・牧野 リナ ・高井 マリ ・半場 和美 ・吉田 佐織 ・松本 義一 	平成24年度パヤニハン日本語教室 事業報告について	<ul style="list-style-type: none"> ・パヤニハン日本語教室の事業報告。 ・日本語教育のための学習教材の作成事業の報告 ・浜北教室の教室状況 ・来年度の教室に向けて

【写真】



5. 日本語教室の設置・運営

(1) 講座名称

・バヤニハン日本語教室～みんなで地域を作っていこう～

(2) 目的・目標

「目的」

日系フィリピン人が生活の中で必要不可欠となる日本語と生活の情報、知識を日本の公的機関や企業、日本人ボランティアの協力を得ながら教授し、フィリピン人と日本人の相互理解を深め、日系フィリピン人の自立を促進する

「受講生の学習到達目標」

- ① 日系フィリピン人が生活の中で必要とする日本語を習得する
- ② 日系フィリピン人が生活の中で必要とする生活情報、知識を得る
- ③ 公的機関や企業、日本人ボランティア等に教室に参加してもらい、フィリピン人と日本人がお互いを理解する

「取組における達成目標」

- ① 日系フィリピン人が教室の中で学んだ日本語や生活情報、知識を用いて、自立して日本で生活できるようになる
- ② 日系フィリピン人と、彼らが住む地域の日本人の人々が集まれる教室を行い、交流を深め相互理解を促進する

(3) 対象者

・浜松市に住む日系フィリピン人

(4) 開催時間数(回数) 60 時間 (全 26 回)

(5) 使用した教材・リソース

・講師作成プリント

(6) 受講者の総数 59 人

(出身・国籍別内訳：フィリピン国 45 人，日本国 14 人)

(7) 受講者の募集方法

- ・ホームページでの募集
- ・教室紹介チラシの配布と設置
- ・浜松市外国人支援センターでのバヤニハン日本語教室紹介のお願い
- ・浜松国際交流協会ハイスニュースでの募集

(8) 日本語教室の具体的内容

・浜松東教室

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者数	講師又は指導者名	補助者数	補助者	備考
1	平成24年7月22日 13:30~15:30	2時間	長上公民館	10人	フィリピン人(10人)	自己紹介	初対面の人にあいさつの仕方を教える。出身地や住んでいる地域の言い方。学んだ内容をロールプレイ。	2名	・永井ジュディス ・山本ヘレン	3名	・高井マリ ・半場和美 ・松本義一	教材名「自己紹介」
2	平成24年7月29日 13:30~15:30	2時間	長上公民館	11人	フィリピン人(11人)	名前と住所を書く練習	名前と住所の書き方の練習。申し込み用紙の見方。例。「生年月日=じせいねんがつび、date of birth	2名	・永井ジュディス ・中村グレイス	3名	・高井マリ ・半場和美 ・松本義一	教材名「名前と住所を書く練習」
3	平成24年8月5日 13:30~16:30	3時間	長上公民館	16人	フィリピン人(16人)	イミグレーションセミナー	平成24年7月より変更された在留管理制度についてのセミナー。説明で耳にする日本語の意味を説明。例。住民票、入国管理局	3名	・永井ジュディス ・山本ヘレン ・高井マリ	3名	・半場和美 ・松本義一	教材名「イミグレーション」
4	平成24年8月12日 13:30~15:30	2時間	長上公民館	6人	フィリピン人(5人)、日本人(1人)	電話のマナー	電話特有の表現や慣習。場面を設定し、その場面での電話表現を学ぶ。例。仕事を休む時の電話の仕方	2名	・永井ジュディス ・山本ヘレン	3名	・高井マリ ・半場和美 ・松本義一	教材名「電話のマナー」
5	平成24年8月19日 13:30~15:30	2時間	長上公民館	6人	フィリピン人(5人)、日本人(1人)	カレンダーと日本の行事	日本の文化や慣習をカレンダーに関する言葉(きのう、きょう、あしたetc)を学びながら、学ぶ。	2名	・永井ジュディス ・山本ヘレン	3名	・高井マリ ・半場和美 ・松本義一	教材名「カレンダーと日本の行事」
6	平成24年8月26日 13:30~15:30	2時間	長上公民館	17人	フィリピン人(13人)、日本人(4人)	仕事でよく使われる動詞	工場で耳にする動詞を選び、現在形と過去形、そしてテ形の言い方を学ぶ。	2名	・永井ジュディス ・山本ヘレン	3名	・高井マリ ・半場和美 ・松本義一	教材名「仕事でよく使われる動詞」
7	平成24年9月9日 13:30~15:30	2時間	長上公民館	6人	フィリピン人(6人)	丁寧語とコミュニケーション/色々な場面	買い物で目にする日本語や使用する日本語を学ぶ。例。「営業中」の読み方と意味について	2名	・永井ジュディス ・山本ヘレン	3名	・高井マリ ・半場和美 ・松本義一	教材名「丁寧語とコミュニケーション/色々な場面」
8	平成24年10月7日 13:30~15:30	2時間	長上公民館	10人	フィリピン人(8人)、日本人(2人)	全体復習(テスト)	これまでの復習と定着を図るための小テストを実施	2名	・永井ジュディス ・山本ヘレン	3名	・高井マリ ・半場和美 ・松本義一	教材名「全体復習(テスト)」
9	平成24年10月14日 13:30~15:30	2時間	長上公民館	6人	フィリピン人(5人)、日本人(1人)	病院の名前や使われる言葉	病院名「〇〇科」の意味。どの病院のどの科に行けばいいかを学ぶ。例。山下歯科。歯科=Denal Clinic	2名	・永井ジュディス ・山本ヘレン	3名	・高井マリ ・半場和美 ・松本義一	教材名「病院の名前や使われる言葉」
10	平成24年10月21日 13:30~16:30	3時間	長上公民館	9人	フィリピン人(8人)、日本人(1人)	税金/年金/保険セミナー	税金や年金、保険について社会保険労務士を招いて学ぶ。	3名	・永井ジュディス ・山本ヘレン ・玉越里枝	3名	・高井マリ ・半場和美 ・松本義一	教材名「税金/年金/保険セミナー」 レリア「給与明細」
11	平成24年10月28日 13:30~16:30	3時間	長上公民館	8人	フィリピン人(6人)、日本人(2人)	ハローワーク体験	ハローワークの利用の仕方。求人票の書き方。ハローワークの外国人労働者専門官を招いて、窓口のロールプレイの実施。	3名	・永井ジュディス ・山本ヘレン ・内記裕之	3名	・高井マリ ・半場和美 ・松本義一	教材名「ハローワーク体験」 レリア「求人票」
12	平成24年11月4日 13:30~16:30	3時間	長上公民館	8人	フィリピン人(8人)	交通安全/消防署セミナー	緊急時の対応と119番のかけ方。浜松市消防局東消防署にご協力いただいて、119番のかけ方のロールプレイを実施。	2名	・永井ジュディス ・山本ヘレン	3名	・高井マリ ・半場和美 ・松本義一	教材名「交通安全/消防署セミナー」
13	平成24年11月18日 13:30~15:30	2時間	長上公民館	9人	フィリピン人(9人)	日本料理とフィリピン料理	食育についての知識を学ぶ。日本の食材の名称やレシピの日本語について学ぶ。	2名	・永井ジュディス ・山本ヘレン	3名	・高井マリ ・半場和美 ・松本義一	教材名「日本料理とフィリピン料理」

・浜北教室

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者数	講師又は指導者名	補助者数	補助者	備考
1	平成24年7月22日 13:30~15:30	2時間	長上公民館	10人	フィリピン人(10人)	自己紹介	初対面の人にあいさつの仕方を教える。出身地や住んでいる地域の言い方。学んだ内容をロールプレイ。	2名	・永井ジュディス ・山本ヘレン	3名	・高井マリ ・半場和美 ・松本義一	教材名「自己紹介」
2	平成24年7月29日 13:30~15:30	2時間	長上公民館	11人	フィリピン人(11人)	名前と住所を書く練習	名前と住所の書き方の練習。申し込み用紙の見方。例。「生年月日」=せいねんがつび、date of birth	2名	・永井ジュディス ・中村グレイス	3名	・高井マリ ・半場和美 ・松本義一	教材名「名前と住所を書く練習」
3	平成24年8月5日 13:30~16:30	3時間	長上公民館	16人	フィリピン人(16人)	イメージングセミナー	平成24年7月より変更された在留管理制度についてのセミナー。説明で耳にする日本語の意味を説明。例。住民票、入国管理局	3名	・永井ジュディス ・山本ヘレン ・高井マリ	3名	・半場和美 ・松本義一	教材名「イメージング」
4	平成24年8月12日 13:30~15:30	2時間	長上公民館	6人	フィリピン人(5人)、日本人(1人)	電話のマナー	電話特有の表現や慣習。場面を設定し、その場面での電話表現を学ぶ。例。仕事を休む時の電話の仕方	2名	・永井ジュディス ・山本ヘレン	3名	・高井マリ ・半場和美 ・松本義一	教材名「電話のマナー」
5	平成24年8月19日 13:30~15:30	2時間	長上公民館	6人	フィリピン人(5人)、日本人(1人)	カレンダーと日本の行事	日本の文化や慣習をカレンダーに関する言葉(きのう、きょう、あしたetc)を学びながら、学ぶ。	2名	・永井ジュディス ・山本ヘレン	3名	・高井マリ ・半場和美 ・松本義一	教材名「カレンダーと日本の行事」
6	平成24年8月26日 13:30~15:30	2時間	長上公民館	17人	フィリピン人(13人)、日本人(4人)	仕事でよく使われる動詞	工場で耳にする動詞を選び、現在形と過去形、そしてテ形の言い方を学ぶ。	2名	・永井ジュディス ・山本ヘレン	3名	・高井マリ ・半場和美 ・松本義一	教材名「仕事でよく使われる動詞」
7	平成24年9月9日 13:30~15:30	2時間	長上公民館	6人	フィリピン人(6人)	丁寧語とコミュニケーション/色々な場面	買い物で目にする日本語や使用する日本語を学ぶ。例。「営業中」の読み方と意味について	2名	・永井ジュディス ・山本ヘレン	3名	・高井マリ ・半場和美 ・松本義一	教材名「丁寧語とコミュニケーション/色々な場面」
8	平成24年10月7日 13:30~15:30	2時間	長上公民館	10人	フィリピン人(8人)、日本人(2人)	全体復習(テスト)	これまでの復習と定着を図るための小テストを実施	2名	・永井ジュディス ・山本ヘレン	3名	・高井マリ ・半場和美 ・松本義一	教材名「全体復習(テスト)」
9	平成24年10月14日 13:30~15:30	2時間	長上公民館	6人	フィリピン人(5人)、日本人(1人)	病院の名前や使われる言葉	病院名「〇〇科」の意味。どの病院のどの科に行けばいいかを学ぶ。例。山下歯科。歯科=Dental Clinic	2名	・永井ジュディス ・山本ヘレン	3名	・高井マリ ・半場和美 ・松本義一	教材名「病院の名前や使われる言葉」
10	平成24年10月21日 13:30~16:30	3時間	長上公民館	9人	フィリピン人(8人)、日本人(1人)	税金/年金/保険セミナー	税金や年金、保険について社会保険労務士を招いて学ぶ。	3名	・永井ジュディス ・山本ヘレン ・玉越里枝	3名	・高井マリ ・半場和美 ・松本義一	教材名「税金/年金/保険セミナー」 レリアア「給与明細」
11	平成24年10月28日 13:30~16:30	3時間	長上公民館	8人	フィリピン人(6人)、日本人(2人)	ハローワーク体験	ハローワークの利用の仕方。求人票の書き方。ハローワークの外国人労働者専門官を招いて、窓口のロールプレイの実施。	3名	・永井ジュディス ・山本ヘレン ・内記裕之	3名	・高井マリ ・半場和美 ・松本義一	教材名「ハローワーク体験」 レリアア「求人票」
12	平成24年11月4日 13:30~16:30	3時間	長上公民館	8人	フィリピン人(8人)	交通安全/消防署セミナー	緊急時の対応と119番のかけ方。浜松市消防局東消防署にご協力いただき、119番のかけ方のロールプレイを実施。	2名	・永井ジュディス ・山本ヘレン	3名	・高井マリ ・半場和美 ・松本義一	教材名「交通安全/消防署セミナー」
13	平成24年11月18日 13:30~15:30	2時間	長上公民館	9人	フィリピン人(9人)	日本料理とフィリピン料理	食育についての知識を学ぶ。日本の食材の名称やレシピの日本語について学ぶ。	2名	・永井ジュディス ・山本ヘレン	3名	・高井マリ ・半場和美 ・松本義一	教材名「日本料理とフィリピン料理」

(9) 特徴的な授業風景

1. 浜松東教室 第11回「ハローワーク体験」セミナー

開催日:10月28日

目的:外国人生活者のハローワークの利用を促すため、利用の仕方や使用される日本語の意味、実際の窓口での受付体験を行う。

内容:ハローワークで使用される日本語について教授・説明
受付の体験の実施(講師:外国人専門官 内記裕之様)

教材:ハローワークで使用される日本語一覧プリント
求人票(レアリア)



2. 浜北教室 第2回「病院の名前や使われる言葉」

開催日:12月1日

目的:病院の名前を見て、病院の種類(何科)であるのかを理解することができる。
病院で使われる言葉(例. お薬手帳など)を学び、理解する。

内容:病院の名前の意味について学ぶ。

例.「〇〇歯科」=〇〇は病院名、歯科は病院の種類。=歯医者(dental clinic)

病院で使用される日本語の教授・説明

病院での受付をロールプレイで練習する。

教材:病院の種類についての説明プリント

病院で使用される日本語プリント

ロールプレイ会話

看板の写真



(10) 目標の達成状況・成果

教室終了後にアンケートを実施し、教授内容の成果を尋ねた。教室開催の地域は工場勤務の日系フィリピン人が多く滞在しており、今回の教室で取り上げた「電話のマナー」、「工場でよく使われる動詞」など工場での仕事に関する内容と日本語に対して、大きな反響があった。また、「病院の名前や使われる言葉」や「119番通報の練習」など緊急事態に関するテーマも強い関心があった。教室の特徴として、どの回にもロールプレイ練習を取り入れている。ロールプレイ練習では日本人ボランティアとペアになり、実際に生のコミュニケーションに近い形を目指している。教室のフィリピン人は普段の生活で日本人と接する機会がほとんどない。この教室を通して実際のコミュニケーションの取り方を学ぶことができた。

日本人ボランティアにも多くの方に参加してもらうことができ、外国人生活者のことを知る機会を提供することができた。今後の活動について、「浜松の地理や地名を教える授業をしたらどうか。」などのアドバイスもしてもらうなど、外国人生活者とのコミュニケーションを積極的にとろうとする姿勢を見ることができた。

(11) 改善点について

教室体制

教室が終了した後、学習者の学ぶ場所がなくなり日本語学習が止まってしまう。これらについては、地域との連携を強化し、次の日本語学習のステップへスムーズに移行できる体制を作っていくことが求められていると感じる。

教室内容

ロールプレイの会話例の精度を上げ、より実際の場面で使用されている言葉や表現を教授できるように会話例の調査を行う。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称

・日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(2) 目的・目標

「目的」

バイリンガル教師の需要に対応するためバイリンガル教師を目指す新たな人材の発掘を行い、バイリンガル教師の育成へつなげる。

「達成目標」

- ①長期在住フィリピン人に対し、バイリンガル教師やバヤニハン教室についての紹介を行い、バイリンガル教師を目指す新たな人材を発掘する。
- ②発掘した人材に実際にバヤニハン教室に見学しに来てもらったり、地域の日本語ボランティア養成講座などを紹介したりし、日本語教育の知識を学んでもらいバイリンガル教師の育成につながるサポートを行う。

(3) 対象者

・浜松市に住む長期滞在者のフィリピン人で日本語能力の高い方

(4) 開催時間数(回数) 2 時間 (全 3 回)

(5) 使用した教材・リソース

・バヤニハン教室・バイリンガル講師についての紹介資料

(6) 受講者の総数 16 人

(出身・国籍別内訳：フィリピン国 14人, 日本国 2人)

(7) 受講者の募集方法

・ホームページでの募集

・教室紹介チラシの配布と設置

・浜松市外国人支援センターでのバヤニハン日本語教室紹介のお願い

・浜松国際交流協会ハイスニュースでの募集

(8) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者数	講師又は指導者名	補助者数	補助者	備考
1	平成24年10月1日 13:30~15:30	2時間	浜松市南部 公民館	6人	フィリピン人(6人)	バイリンガル講師の発掘	日本に滞在歴の長く、日本語能力が高いフィリピン人を対象に、現在のバヤニハン教室とバイリンガル講師の活動・役割などを説明し、バイリンガル講師として活躍できる人材を発掘する	3名	・牧野リナ ・永井ジュディス ・山本ヘレン	3名	・高井マリ ・半場和美 ・松本義一	教室活動のパワーポイント資料配布
2	平成25年1月26日 10:00~12:00	2時間	浜松国際交流協会 第一 伊藤ビル9階	4人	フィリピン人(4人)	バイリンガル講師の発掘	日本に滞在歴の長く、日本語能力が高いフィリピン人を対象に、現在のバヤニハン教室とバイリンガル講師の活動・役割などを説明し、バイリンガル講師として活躍できる人材を発掘する	1名	・半場和美	1名	・松本義一	教室活動のパワーポイント資料配布
3	平成25年3月10日 12:00~14:00	2時間	湖西市 鷺津 コミュニティ防災センター	6人	フィリピン人(6人)	バイリンガル講師の発掘	日本に滞在歴の長く、日本語能力が高いフィリピン人を対象に、現在のバヤニハン教室とバイリンガル講師の活動・役割などを説明し、バイリンガル講師として活躍できる人材を発掘する	1名	・半場和美	1名	・松本義一	教室活動のパワーポイント資料配布

(9) 特徴的な授業風景

第1回「バイリンガル講師の発掘」

開催日：10月1日

目的：バヤニハン日本語教室・バイリンガル講師の紹介をし、バイリンガル講師として活躍したい人材を発掘する。

内容：バヤニハン教室の紹介

バイリンガル講師の役割・利点について説明

バイリンガル講師に求められる能力について説明

教材：バヤニハン教室紹介のパワーポイント資料

(10) 目標の達成状況・成果

バイリンガル講師として日本語能力検定試験3級以上の日本語力のある方のみを対象に行った。外国人生活者としてサポートしてもらうだけでなく、外国人生活者から同胞をサ

ポートするという趣旨に賛同してもらい、受講生のうち2名が今後の教室に関わってくれることとなった。

(11) 改善点について

バイリンガル講師として日本語を教えるための知識や技術面での教授が行えなかった。今後は、実際の現場の中で教室を行いながら知識や技術面の教授を行っていくことを考えている。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

(1) 教材名称

- ①BAYANIHAN Nihongo Class Textbook for Hamamatsu Higashi Class 2012～2013
- ②BAYANIHAN Nihongo Class Textbook for Hamamatsu Hamakita Class 2012～2013

(2) 対象

- ・日本語初級レベルのフィリピン人生活者

(3) 目的・目標

「目的」

日系フィリピン人が日本語を必要とする各場面で使用されている単語や表現、情報が記載されたプリント集を作成する。

「達成目標」

① 実際の場面でも役に立つプリントの作成

教室で渡したプリントを持ってその場面にいけば、最低限の内容を伝えられる。

② 全9回の教室授業と全4回のセミナーや体験学習を終えた後、生活に必要な場面の日本語とその情報が記載されたプリント集として保管できるものを作成する

(4) 構成

テーマ: 13回

各回の構成:

- ①教材作成のこぼれ話(各テーマの紹介)
- ②学習プリント
- ③学習チェック表(浜松東 Textbook では無し)

(5) 使い方

- ・各テーマの補足教材として使用する。

(6) 具体的な活用例

- ・各テーマで使用される日本語とそのタガログ語訳が載っているので、単語の学習の際に補足教材として使用できる。
- ・各テーマで使用されるロールプレイ練習の例が記載されているので、日本語とタガログ語で意味を理解しながら、ロールプレイ練習を行うことができる。

(7) 成果物の添付

- ・<http://filipinonagkaisa.sitemix.jp/textbook>

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

事業内容は大きく分けて二つである。

- ① 浜松市に住む日系フィリピン人に対する日本語、生活支援教室の実施
- ② バイリンガル教師の人材発掘

①浜松市に住む日系フィリピン人に対する日本語、生活支援教室の実施

下記の「地域の実情、課題」でも触れてあるが、浜松市に住む日系フィリピン人のレディネス、ニーズが変化し、彼らの日本語教室に対する関心は高くなっている。しかし、既存の多くの日本語教室では彼らのレディネス、ニーズに対応できない状況にあり、日本語の必要性を感じつつも日本語学習が進まず、生活に支障をきたしている者も多い。

そんな中、私たちフィリピンナガイサは昨年度、文化庁事業を受託し「バヤニハン日本語教室～みんなで地域をつくっていこう～」を開催した。この事業の中で、浜松市の浜北地区に住む日系フィリピン人を対象に彼らのニーズやレディネスを調査した上で彼らの希望に合った日本語教室を行った。彼らが日本語を必要とする場面を調査し、そこで使われる日本語の単語や表現を調べ、それを授業で取り扱い、そしてその場面に関係する地域の公的機関や企業の方にゲスト講師として教室に参加してもらい実際にロールプレイを行うことや彼らの関心の高いテーマについて話をしてもらった。また、バイリンガル教師が自らの体験、経験に基づく生活情報を日本語と母語を交えて教えた。教室の中で、おしゃべりボランティアとして同じ地域に住む日本人を募集したことにより、同じ地域のフィリピン人と日本人が教室の中で話をする機会ができ、同じ地域に住む者として相互理解を促進する場を提供した。

このような活動により、彼らが必要とする日本語を教授することができ、彼らの生活で必要となる情報なども伝えることができた。その地域に住む日本人の方たちにもフィリピン人の存在を知ってもらうことができ、相互理解を促進することができた。

こういった状況の中で、今年度は昨年度の浜北地区での教室開催に加え、新規学習者の要望が大きく、代わりとなる日本語教室の開催が少ない浜松東地区での開催を計画している。行う内容は昨年度の内容を踏まえ、標準的なカリキュラム案を参考とした教室授業と生活情報に重点を置いたセミナーや体験学習の二本柱とすることを計画している。

②バイリンガル教師の人材発掘

生活に必要な日本語と情報を限られた期間の中で教える私たちの教室では学習者の母語で説明できるバイリンガル教師の存在が必要不可欠である。様々な地域で私たちの行う日本語教室の需要が高まっているが、バイリンガル教師として活躍できる者の人数は増えていない。そのために、限られた場所、回数しか活動ができていない問題が現在起こっている。今後も伸びていくであろう需要に対応すべく、バイリンガル教師になりうる人材の発掘のためバヤニハン教室やバイリンガル教師の活動紹介などを行い、バイリンガル教師の人材の裾野を広げていく。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

①浜松市に住む日系フィリピン人に対する日本語、生活支援教室の実施

事業終了後に学習者に対して実施したアンケートでは、「日本で生活する上でとても役に立ち、助かります。」、「習った日本語をどこで使えるかわかった。」、「来日したばかりだけど、普段の生活にとっても助かった。」という感想をもらい、この教室での目的がある程度達成できたと考える。また、日本人ボランティアの方々に行ったアンケートでも、「日ごろ外国人生活者と接点がないが、教室を通して接することができた。」という声があり、教室の目的である「相互理解」を行うための出発点を提供することができた。

②バイリンガル教師の人材発掘

人材発掘のためにバヤニハン日本語教室で行っている内容とバイリンガル講師の役割や利点について日本語能力検定試験3級以上のフィリピン人生活者に紹介、説明した。日本語能力がバランスよく高い人材が少なく、毎回10名程度の参加者を予定していたが、人数が10名を割ってしまい、思うような人数を対象に事業が行えなかった。しかし、その中でも2名の受講者がバヤニハン日本語教室に関心を持ってくれ、今後の教室に補助者として参加してくれるようになった。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

今回の教室やセミナーのテーマを選定する際に、カリキュラム案で取り上げられているテーマを参考とした。カリキュラム案の中でのテーマや教授項目の取り上げ方、教室の進め方を参考とし、ロールプレイの作成や使用教材を選んだ。なるべくレリアアを多く取り入れ、生活者が学習している内容がどの場面で使用されるのかをイメージしやすくする工夫をした。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果等

浜松市外国人学習支援センターと協力し、浜松市に住む外国人生活者が継続して日本語を学べる体制作りを行った。具体的には、バヤニハン日本語教室終了後に浜松市外国人学習支援センターでの講座の案内や他の団体が行っている日本語教室の情報を紹介した。バヤニハン日本語教室の受講生の数名は紹介した講座に通い、日本語学習を続けている。

(5) 改善点、今後の課題について

「教室運営・設置」

バヤニハン日本語教室の開始から4年が経過し、教授項目や教授方法について形ができているが、教授方法が画一的であり、学習が単調になりやすい。このため、受講生からのその場の質問・疑問をうまく教室内で解消できていないことがある。これを改善するためには、バイリンガル講師の更なる日本語教育の知識や教授技術の改善が必要である。バイリンガル講師の更なるレベルアップのため、日本人の日本語教師をコーディネータとして迎え上記の日本語教育の知識や教授技術の向上を目指していく。

「人材養成・研修の実施」

浜松市ではバイリンガル講師による教室開催のニーズが高まっているため、講師として活躍できる人材を発掘する試みであったが、講師として活躍できる日本語能力を要している者が少なかった。今後は日本語能力を養いつつ、日本語教授の方法についても学べる環境が必要である。地域の日本語教師養成講座との連携を図り、バイリンガル講師の養成についても検討していきたい。

「教材作成事業」

毎回の教室でバイリンガル講師が作成し、使用している補助教材のプリントを元にそれらを整理、修正し教科書としてまとめた。講師自身が使用しやすいように作成した補助教材であるため、その他の者も使用するという視点がやや欠けたものとなっている。今後は、講師以外の者も使用することを念頭に置いた教科書の作成を考えていく。

(6) その他参考資料

- ・アンケートの添付

アンケート（ボランティア用）

① このクラスを何で知りましたか。

HICE NEWS (2)、フィリピンナガイサHP (2)、前年より継続 (1)
U-T o c 日本語ボランティア養成講座修了生 (1)

② 本クラスに継続して通っていただいた理由について、よければお聞かせください。

- ・ 元気、パワーをもらえるので。(1)
- ・ 時間のあるときに何かお役に立てればいいと思い参加している。(1)
- ・ 故郷である浜松に外国人が多く住んでいるが、今まで市内の外国の方と接したことが無く、どのような人たちが住んでいるか知りたかったから。(1)
- ・ フィリピンの皆さんの人柄、クラスの雰囲気良さ。(1)

③ いちばん良かった授業はなんですか？ ○をつけてください。(いくつでもOK)

自己紹介 (2) / ひらがな (1) / カタカナ (1) / 漢字

名前と住所を書く練習 (1) / イミグレーション (1) / 電話のマナー (1)

カレンダー・日本の行事 / 工場によく使われる動詞 / ハローワーク (2)

丁寧語とコミュニケーション色々な場面 (1) / 税金・年金・保険 (1) 病院の名前や使われる言葉 (2) / 全体の復習・テスト / 台風警報

119番通報の練習 (3) / 日本の料理を作る (2) / 学習者との雑談 (3)

④ ③について、なぜ、それが良かったと思いますか？

- ・ 自分も英会話の勉強をされていて感じることは、まず身近な生活で必要とされる言葉や興味があること、楽しいことは意外と身に付きやすい。そして、必要なことは必ずマスターして欲しいと思いました。
- ・ 生活に必要なことで、ためになると感じました。
- ・ 現職の方々（ゲスト）の回に、3回参加したので。
- ・ 料理を作るのが楽しく、フィリピン料理を味わうこともできてよかった。
- ・ いざというとき役に立つと思ったから。
- ・ 学習者の気持ちと直結した日本語を聞くことができ、こちらの日本語も分かっていると確認できたから

⑤ 今後、同じように日本語教室があったら、取り上げてほしいテーマは何ですか？ じょうきいがい (上記以外で)

- ・ 浜松の地理、地名を教える授業

⑥ 授業内容について

<良かった点>

- ・ いつも感じるのは、雰囲気明るくていいと思います。
- ・ 参加した方が明るくてにぎやかでよかった。楽しくできました。
- ・ すごく丁寧に各自のレベルに合わせて教えてあげているところ。
- ・ 小さな子どもから大人まで、みんなで取り組めるテーマが多いこと。
- ・ 日本の料理を作り、フィリピンの料理を持ち寄ったので、両方の国の料理があり互いに会話が弾みました。
- ・ 日本語の発音を教えている点。
- ・ 生活に役立つ内容を満遍なく網羅されていると思った。

<改善したほうがよいと思う点>

- ・ 宿題で書き取りがあったほうが、日本語の能力が上がると思う。
- ・ 授業の最初に前回の復習、最後に来週の予習を少し取り入れてプリントも先に渡すのはどうでしょうか。(反復練習はとても大切なことだと思います。)
- ・ 学習者の発話機会がもっとあっても良いと思った。

⑤ フィリピンナガイサに要望はありますか？

- ・ 授業の回数を増やすのは、無理でしょうか。
- ・ 今後も参加したいです。末永く続けてください。ありがとうございました。
- ・ 日本語ボランティアが、ほとんど発音模範 CD の代わりに役割に過ぎないように感じた。授業前に一緒に打ち合わせ等があったら、日本語ボランティアをもっとうまく使えるのかも。

ご協力ありがとうございました。 **Salamat Po.**

アンケート（学習者用）

⑦ このクラスを何で知りましたか。

- ・ このクラスに友だちがいる。（2）
- ・ 子どもが通う浜名小学校の支援員から聞いた。（3）
- ・ フィリピンナガイサスタッフの紹介（1）

⑧ いちばん良かった授業はなんですか？ ○をつけてください。（いくつでもOK）

自己紹介（5）／ひらがな・カタカナ（5）／名前と住所を書く練習（6）イミグレーション（4）／電話のマナー（6）カレンダー・日本の行事（3）／工場によく使われる動詞（6）／ハローワーク（3）
丁寧語とコミュニケーション色々な場面（4）／税金・年金・保険（3）病院の名前や使われる言葉（6）／全体の復習・テスト／台風警報（2）
119番通報の練習（5）／日本の料理を作る（6）

⑨ ②について、なぜ、それが良かったと思いますか？

- ・ たいへん、勉強になったから。
- ・ 私たちが日本で生活する上でとても役に立ち、助かります。
- ・ 習った日本語を、どこで使えるかわかったから。
- ・ 来日したばかりだけど、ふだんの生活にとっても助かったから。
- ・ 生活する上で、助かったから。
- ・ 面白かったから。新しい言葉もたくさん覚えられたから。

⑩ 今後、同じように日本語教室があつたら、取り上げてほしいテーマは何ですか？ じょうきがい（上記以外で）

- ・ 日本の文化（2）
- ・ 文章の作り方（1）
- ・ 日本の踊りや、着付け（2）

⑪ 日本人のおしゃべりボランティアさんが参加したことを、どう思いますか。

- ・ とてもありがたい。日本語の能力を高めるためにも勉強になった。
- ・ 親切な方たちで、とても助かりました。（2）
- ・ みなさん、とてもいい方たちでした。

- ・ わかりやすく説明してくれましたし、楽しかったです。
- ・ 親切で楽しい方たちでした。

⑫ 授業内容について

<良かった点>

- ・ ひらがな、カタカナ
- ・ 日常会話にも使える内容もあって、よかった。
- ・ 119番通報の仕方がわかったこと。
- ・ 漢字で住所と名前を書けるようになったこと。
- ・ すべて
- ・ ボランティアさんといっしょにロールプレイをしたこと。

<改善したほうがよいと思う点>

- ・ 授業の日時を変更してほしい。仕事があって、来られない人が多かったから。

⑦ フィリピンナガイサに要望はありますか？

- ・ 大人だけでなく、子どものための日本語教室を浜北にも設置して欲しい。
(3)
- ・ 来日したばかりの人のための日本語教室を継続してほしい。
- ・ クラスをレベル分けしてほしい。

⑬ 差し支えなければ、ビザの種類を教えてください。

永住者 (4)

ご協力ありがとうございました。 **Salamat Po.**